

8月号から市内小学校(8校)・中学校(3校)・高校(2校)による子ども達の手づくりによる広報紙を特集しています。テーマ、写真、取材、編集、構成までを一貫して行っていただきました。

今回の特集記事では、最初に宝小学校、次に都留第二中学校の特色ある活動を内部からの視点で紹介させていただきます。さて、来月号はどこの学校かな？

宝小学校

宝小学校は、明治五年の学制発令以来、大幡学校、金井学校、平栗学校の三校を設置しその後幾多の変遷を経て昭和二十二年の四月の学制改革により現校名の宝小学校となりました。

現在、児童数百九十九名、学級数七、教職員十五名の学校です。学区は大幡川沿いの高畑、上大幡、下大幡、中津森、金井、加畑川沿いの加畑、平栗、厚原地区です。



(校舎全景)

学校教育目標

- 一 よく考える子
筋道を考えて深く考え、正しく判断して、物事が処理できるとともに、創意工夫のできる子
- 二 がんばりのきく子
広い視野に立って、正しいことは主張し、自分の行動に責任をもってやりぬく、強い心と体をもっている子
- 三 思いやりのある子
自然を愛し、自他を大切にし、お互いに協力しあえる、心のやさしい子

児童会の活動の紹介

宝小の児童会のテーマは「みんなはひとりのためにひとり はみんなのために」です。

このテーマを達成するために

- 一 生活をよくしよう
- 二 友達と仲良くしよう
- 三 ゴミのない学校にしよう
- 四 ボランティア活動に取り組みよう

の4つの目標を決め活動しています。

また、児童会の活動では、たてわり班をつかった活動を多く取り入れています。

一学期には、児童総会、児童集会(二年生を迎える会、チャレンジ集会など)やたてわり班のそうじをしました。

また、夏休み中に友達にくさん手紙をだすことを目標に暑中見舞いのコンテストもしました。

二学期に入ってから運動会やボランティア活動に取り組みました。また、道徳の公開発表会の中で行われる第二回祖父母教室へ向けても取り組んでいます。

また、年間を通して、毎月第二水曜日の朝の時間にシヨート集会をします。生活目標の取り組みを発表したり委員会からのミニ集会をしたりとよい発表の時間です。次に委員会の集会を紹介します。



保健集会(ぱくぱく もぐもぐ)

保健集会

一学期に「歯」の大切さについて集会を行いました。

保健委員会が作った紙芝居や〇×クイズを通して「食べ物」と「歯」の関係、大切さを全校に広めることができました。

図書集会

十一月のはじめに、図書委員会が、読書週間ということで、大型紙芝居と図書室にある本についての〇×クイズをしました。〇×クイズを通して「こんな本を読んでみたい」と思う動機づけとなりました。



図書集会(大型紙芝居のできは.....)

目標ごとの具体的な活動

一生活をよくしよう

- 五月 あいさつをしよう
- 六月 室内で静かにしよう
- 七月 廊下は歩こう
- 八月 係活動をがんばろう
- 九月 係活動をがんばろう
- 十月 ボランティア活動へ取り組みよう
- 十一月 きまりを守ろう
- 十二月から三月までは十一月までにできなかったことについて取り組みます。
- *八月と九月は同じ目標です。

など月別の目標を決めました。執行部が中心となり各クラスで取り組みを考え活動しました。また、必ず活動の反省をしそれを次の活動へいかしていきました。

たとえば、五月の「あいさつをしよう」では、執行部が児童玄関でのあいさつの呼びかけ、ポスターを書いて貼り、あいさつをすることへの意識づけをしました。

六月の室内で静かにしよう」では、梅雨の時期ということもあって室内が騒がしいので、「ろうか歩こう」という取り組みを重点的にやりました。執行部と中央委員が交代で廊下に立って走っている人を注

意しました。あまりひどい人はクラスに言いに行きました。また、雨の日に室内で静かにできるように執行部でトラップなどを買って休み時間に貸し出しました。ただ、取り組んでいるときはできるので、取り組みが終わるともどに戻ってしまうので、さらにこの取り組みを続けていかなければならないです。

二 みんなで仲良くしよう

児童会でチャレンジ集会を計画して行いました。チャレンジ集会は執行部が中心となる集会のひとつです。実行委員会をつくって企画しました。各コーナールをつくり、たてわり班の班ごとに各コーナールをまわって記録にチャレンジしました。各コーナールは「輪投げ」



チャレンジ集会（的に当たるかな・・・）

「豆運び」「的当て」「ものの数当て」「紙飛行機とばし」「ぞうきんリレー」「かさバランス」などをつくりました。全員がコーナールをまわりました。

六年生の班長が下級生の面倒をよく見ていました。最後に、閉会式をして終わりました。

三 ゴミのない学校にしよう

学期に一回たてわり班でグラウンドのゴミ拾いを計画しました。一学期は六月にしました。たてわり班ごとに日にち



たてわり班そうじ
(今日もしっかりできた)

や分担を決めてグラウンドのゴミ拾いをしました。このそうじでグラウンドにたくさんゴミがあることに気づきました。

また、六年生がリーダーとして下級生の面倒をよく見ていました。普段のそうじでは、特に後

かたづけを重点にしています。最後までしっかりとそうじをするように、呼びかけをポスターでしています。

四 ボランティア活動に取り組みよう

児童会でボランティア月間を決めたりして、ボランティア活動を活発にしようとして取り組んでいます。

ボランティア委員会では古切手・アルミ缶集めの強化月間として放送で呼びかけたり集会を開くことで取り組みを進めています。執行部としては手話の歌を覚えるということとでクラスに教えるに行きます。また、ボランティア集会では今まで集められた切手やアルミ缶の重さを発表し、回収したアルミ缶が新しいアルミ缶に生まれ変わるまでを説明



ボランティア集会
(アルミ缶の生まれ変わるまで)

しりサイクルについてのクイズをだしました。また、最後に、ショート集会でやったアンパンマンの手話をみんなでもう一度やりました。

祖父母教室について

六月の祖父母教室では、お年寄りの方といっしょに宝地区のことや昔の事について〇×クイズをしました。また、「ふるさと」の歌を手話でいっしょに歌い交流しました。また、ひびきの会の方に都留の民話を語ってもらいました。



祖父母教室（とても楽しかった）

運動会について

九月二十日の運動会では、児童会として、たてわり班で活動できる応援合戦と「くねく

ねボール」という競技を考えました。応援合戦ではリーダーの六年生の合図にあわせて、一年生から六年生まで大きな声で応援できました。

また、「くねくねボール」では、大きさの違うボールをいれた長細い布袋を班ごとに一列になり袋を渡していきました。ボールがたくさんはいっているので渡しづらかったです。



運動会のテーマ（４つの光！勝利に向かって輝け）



手ども達にふる広報紙 都留第二中学校



学校の概要

都留第二中学校は昭和41年に創立された統合中学校であり、商業盛んな谷村第一小区、最近工場が進出したたり、ゴルフ場や住宅地が次々と建築されたりしている禾生第一小・禾生第二小・旭小・宝小区の5つの小学校区から生徒が集まって来ています。

現在は511名の生徒が通学しており、遠距離通学の生徒は、スクールバスと電車を利用して登校しています。

本校では校訓、「日新」を掲げ日々新たな自分との出会いをしながら、全校生徒が毎日の生活をはつらつと送っています。

皆が感動した石花海祭

【取り組み】
9月の13、14日には、「Road to Peace」今こそ輝ける瞬間」をテーマに掲げ、生徒会最大行事である「石花海祭」が行われました。二中の生徒は皆、学園祭に対する意気込みが強く、夏休みが終わり、取り組み期間中一度も雨が降らないという酷暑の中でも、一生懸命準備や練習を頑張りました。また、二中にいる全員が必ず一人一役につき、全員が責任を持ってその仕事を行っていったことも大きな団結力を生む結果となりました。



石花海祭の取り組み（合唱）

【文化の日】

9月13日に行われた「文化の日」では、素晴らしい吹奏楽部の発表や、「戦争」、「身近な平和」などをテーマにした各学年での発表、合唱コンクールが

行われました。皆が、今回の大きなテーマである、「平和」について深く考え、それぞれが「一中をさらに平和にしたい」ということを演じ歌に込めて発表しました。中でも、普段から合唱に力を入れている二中では、皆「合唱」に対する気持ちが強く、クラス対抗の合唱コンクールでは、全てのクラスが精一杯心を込めて歌いました。3年生の最優秀賞だった3の4は、都留市の親善音楽会にも出場しました。



合唱コンクール

【体育の日】

次の日に行われた「体育の日」では、クラス対抗で様々な競技を行い、団結力を深めました。綱引きや、全員リレー、

各学年の学年種目など、白熱した戦いが繰り広げられました。中でも、二中の伝統となっており、体育祭の締めを飾るムカデリレーは、本当に見える方も、競技している方も熱くなるものでした。体育祭では、練習の成果が出せた嬉し涙、出せなかった悔し涙、数々の涙が流れました。そのどれもが、とても美しいものでした。



ムカデリレー

【閉祭式】

その日に行われた「閉祭式」では、合唱コンクールや体育の日の表彰、全校合唱の「ハレルヤ」大合唱などが行われました。ハレルヤは二中の長きにわたる伝統となっており、この合唱で石花海祭の全てを締めくくります。この時、全校生徒の目からは感動の涙が溢れていました。一生懸命取り組んできた達

成感や、仲間と素晴らしい時間を共有する事が出来た喜び、また長かった取り組み期間、当日2日間を振り返り、それらの思いが交錯し大きな感動となっていきました。本日に素晴らしい学園祭でした。



感動の閉会式

自分で選ぶ数学の授業

都留二中では、数学の授業を「基礎」クラスと「応用」クラスに分けています。そして、生徒自身が自分の能力に合った方の授業を選ぶことができます。一クラスを少人数にすることにより、先生から一人ひとりがより細かな指導を受けられています。

挨拶運動

現在、二中では学校全体で挨拶運動に力を入れています。校舎には、いつでも二中生の明るい挨拶が聞こえてきます。

先日、野球部が南アルプス市へ試合に行ったとき、道路で出会ったご夫婦に元気よく全員が挨拶をしたところ、後にそのご夫婦から、「先日の皆さんの素晴らしい挨拶でとても清々しい気持ちになりました。私たちは六〇年生きてまいりましたが、あんなに清々しい気持ちになれたのは初めてです」という、感動のお手紙と千羽鶴を頂きました。

挨拶をすることは当たり前なことですが、今出来ない中学生が増えていきます。そんな中、二中の挨拶が遠い地で評価され、感動を与えられたことはとても意義のあることだったと思います。

委員会活動

二中では、委員会活動も盛んです。生活、報道、合唱、保健、整備、図書、園芸、給食、福祉の各委員会が、それぞれに責任を持って二中が様々な面からさらに向上出来るように、各方面で活躍しています。

その中で、最近行われた二つの活動を紹介します。

【図書・保健集会】

まず一つ目は、保健委員会と図書委員会が合同に行った保健・図書集会です。保健集会では、身近に起こりうるケ

ガの対処法について、わかりやすいクイズ形式で紹介してくれました。皆も楽しくクイズに参加し、おもしろくケガの対処法を学ぶ事が出来ました。



保健集会

図書集会では、今までにない新しい取り組みとして、図書委員のおすすめの本を朗読しました。今回、読んでくれたのは灰谷健次郎作の、『誰も知らない』という本でした。模造紙にそれぞれの場面の大きな絵を描き、それを皆に提示しながら、図書委員会が交代で細かな描写まで丁寧に朗読してくれました。そのおかげで、全校生徒が話に耳を傾け、その話に聞き入っていました。

【清掃点検】

二つ目は、整備委員会による「清掃点検」です。学校の掃除を、皆がもっと協力し合い、やっつけようという思いから、「ゴミ捨てができていますか」「服装はきちんとしていますか」「掃除の時間に間に合っていますか」の三項目を各クラスの整備委員会がチェックしました。また、さらにチェックが全校まるにならないと、出来るまで点検を続けるというシステムにし、あえて自分達に厳しい課題を出すことで、全校生徒のこの取り組みに対する意識を高めるようにしました。なかなか、全校全てのクラスが三項目まるになるということは大変ですが、この取り組みを行ったことで、皆の清掃に対する気持ちが変わりました。

部活動

二中の部活動は、多くの大会で大変活躍しています。中でも、吹奏楽部はマーチングの全国大会に二年連続出場！さらに野球部は新人大会の県大会で相手チームをノーヒットノーランに押しさえ優勝、関東大会では、県勢としても初優勝という偉業を成し遂げました。

他の部活動でも、剣道部・二十一世紀部の空手道が全国大会に出場、弓道部が関東大会に出場するなど、どの部

も輝かしい成績を残しています。また、陸上競技でも、多くの生徒が活躍しており、一、二年生の男子が団体で県優勝を遂げ、関東大会や、ジュニアオリンピックに代表として出場した生徒もいます。

【二中にある部活動】

ここで、二中にある部を紹介します。

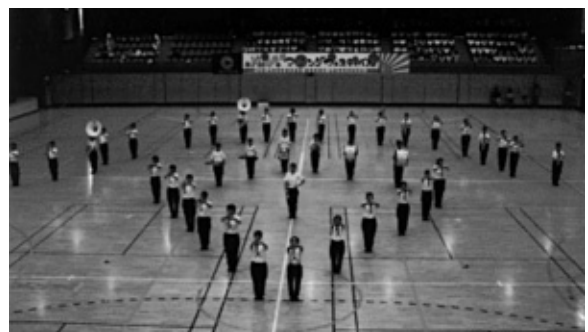
- ・ 野球部
- ・ ソフトテニス部(男・女)
- ・ バスケケットボール部(男・女)
- ・ バレー部(男・女)
- ・ 卓球部(男・女)
- ・ サッカー部
- ・ 剣道部
- ・ 柔道部
- ・ 弓道部
- ・ 吹奏楽部
- ・ 家政部
- ・ 美術部
- ・ パソコン部

・ 二十一世紀部(生徒が社会体育で取り組んでいたり、習い事で取り組んでいたり、あるいは自分が趣味を持って取り組んでいたりするもので、二中の部にはないものをこの名前で認めています。例えば野球のシニア、空手道や水泳、ピアニ、将棋、などです。)

今は、三年生が引退し、二年生が部の中心となって頑張っています。



野球部、県大会での1コマ



吹奏楽部 (マーチングバンド)